

令和7年度 第1回市政懇談会 事前要望等回答一覧(佐間地区)

No.	意見・要望等	所管課	回答
1	<p>【行田市義務教育学校再編計画を策定するなかで、現在小中学校で防災避難所として位置づけている件についても基本構想の中で検討することが望ましい】</p> <p>南海トラフ地震について、関係機関から調査研究結果が示されたが、埼玉県については、内陸型の深谷断層～綾瀬川断層での地震が最も被害が大きいとされている。この断層での地震が発生した場合、行田市では震度6以上が6.9%、震度6以下が43.3%と想定され県内自治体で被害順位は35位である。行田市は液状化の発生率が高いと言われており、市内では持田地区の液状化の発生率が高いと想定されている。</p> <p>また、荒川は感潮河川であり満潮時に海水が上がってくる河川である。利根川は東京湾直下型地震や南海トラフ地震が同時に起きた場合には久喜市まで津波が来るという想定もされている。</p> <p>現在、市内のほとんどの小中学校が災害時の避難所に指定されているが、今後の方向性を再編計画の基本構想の段階で防災面からも検討するべきと考える。</p>	<p>教育総務課 危機管理課</p>	<p>児童生徒数の減少により教育活動に支障が生じていることから、より良い教育環境の整備と質の高い教育の実現を目指し、学校再編に取り組んでおります。再編計画〈個別編〉の後に着手する基本構想では、新校整備に向けた設計や工事を進める上での基本的な考えや指針を示していく予定であり、具体的には、敷地の選定、校舎配置、諸室配置、建築構造、整備方法などを検討していきます。その際、新校が地域の避難所として指定されることも想定し検討してまいります。</p> <p>また、今後、全庁的に公共施設の再編を検討する中で、避難所についても一定数確保できるよう、小中学校施設のみならず、全公共施設の最大限の活用について、検討してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
2	<p>【旧彩々亭の駐車場について】</p> <p>旧彩々亭の隣にある市所有の駐車場は利用者が少ないと思われる。旧彩々亭を通り水城公園に直に入れるようにすれば利便性が高まると思う。昔は橋があったと聞いているので検討してほしい。</p>	文化財保護課	<p>旧荒井八郎商店(旧彩々亭)の駐車場につきましては、現在、「キッズプラザあおい」をはじめ近隣の公共施設利用時の駐車場として活用しております。</p> <p>駐車場も含めた旧荒井八郎商店の敷地等につきましては、現在、利活用の方策があるか検討を図っているところであり、橋の設置につきましてもあわせて検討してまいりたいと存じます。</p>
3	<p>【忍沼川の水草について】</p> <p>水城公園から佐間公民館に流れる川（忍沼川）に水草が多く繁茂し流れが悪いように見える。これからの季節は雨量が増えると心配である。早めの除去をお願いする。</p>	道路治水課	<p>忍沼川の水草については、忍沼川の水を田んぼの用水としても使用していることから、沿川で耕作されている農家さんとも調整を行い、毎年7月頃に除去をしております。</p> <p>本年も例年どおり7月頃に除去できるよう調整を進めてまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
4	<p>【市役所の電話番号について】</p> <p>市役所内の各課の電話番号がなく、代表番号になっているため、着信があつて折り返す時に不便である。課の単独番号にならないか。スポーツ振興課は直通なので番号通知で折り返しができる。</p>	財産管理課	<p>本市では、地方庁舎や水道庁舎などの部署において直通番号（ダイヤルイン）を導入しておりますが、そのような施設と比べて市役所本庁舎には、多くの部署が配置されていることもあり、多岐にわたる問い合わせをお受けしています。中には、問い合わせ先の部署が分からずにご連絡いただくことも多くございますが、その際にも、迅速且つ適切に担当部署へ電話をつなぐため、電話交換手を配置しており、代表電話番号により一括して受信及び発信する運用としております。</p> <p>そのため、本庁舎にある部署から発信された電話に出られなかった場合、お客様には代表電話番号が着信履歴として残り発信部署が分からないことがあります。その際は、代表電話番号にお電話いただければ、お客様の電話番号から発信部署を特定してその部署に電話をお繋ぎするか、発信部署から再度お電話をさせていただきます。</p> <p>発信部署が分からず不安に思われたり、発信部署の特定に時間を頂戴したりすることもあるかと存じますが、本庁舎全体における電話機能の運用や、本庁舎の部署すべてにダイヤルインを導入した場合の費用増加などを鑑み、引き続き現在の運用を継続してまいりたいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
5	<p>【義務教育学校の校舎について】</p> <p>忍中・行田中・埼玉中・太田中とその周りの小学校を再編しひとつの義務教育学校を作るとあるが、計画している令和12年には全校で1598名であるが4年後の令和16年には1330名と268名も減る予定であり、その後も減り続けることは予想される。1598名が収容できる校舎を作り、何年かして空き教室ばかりにしてしまうのは無駄ではないか。</p> <p>さいたま市では、2028年に義務教育学校を作るが1～4年生は既存の小学校を使用し、5～9年生は新設する校舎を使用するとある。数年間はさいたま市方式ではどうか。</p>	教育総務課	<p>Bブロック（忍・行田・埼玉・太田中学校区）内においては、児童生徒数の減少が著しく、教育活動を実施していく上で支障が生じている学校があります。そのため、早期に一定規模の学校に再編し、教育環境をより良くする必要があります。また、同ブロックにおける新校の候補地を具体的に絞り込めていることから、設置に向けた取組を早期に実施したいと考えています。</p> <p>なお、本市では、義務教育学校を設置するに当たり、9年間の学びを一体的に捉え、教職員の一体的な指導のもと、子どもたちが相互に交流できる環境を整えることが重要と考えています。そのため、複数の校舎ではなく、施設一体型の義務教育学校を目指しています。</p> <p>また、施設整備に当たっては、新しい時代の学び舎として、多様な授業形態に対応した柔軟な学習空間の整備を目指しています。そこで、学校全体を学びの場として捉え、様々な用途に活用可能な教室や多目的スペースを確保し、豊かな学びを支えていきます。</p> <p>児童生徒数が減少した場合について、例えば、少人数指導や各教科における探求的な学び、教育相談等に使用する空間として柔軟に最大限活用していきます。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
6	<p>【広報誌のポスティングについて】</p> <p>北本市・上尾市・蓮田市・桶川市等は自治会の負担軽減等を考慮し、市広報誌のポスティングを外部委託している。費用も無理な額ではない。配布物に関する要望は、令和5・6年度の市政懇談会でも出しているが明快な回答がない。行田市はなぜ従来の配布方法しかできないのか。納得のいく資料を提示してほしい。</p>	<p>広報広聴課</p>	<p>広報紙は、市民にとって必要な情報を提供することを目的としているため、その配布に当たっては全ての市民の手に渡ることが理想であり、また、地域住民のコミュニケーションを図る機会の増加や地域の見守り活動にも資するという観点から、市民の多くが加入する自治会の皆様にご協力をいただいているところです。</p> <p>一方で、自治会役員等の高齢化や担い手不足により広報紙の配布の負担増加が課題であることも認識しております。こうした課題解決の一つの手段として、ご提案の広報紙のポスティングを検討した経緯もありますが、自治会の負担軽減や自治会未加入者への配布が可能になるというメリットがある一方で、ポストが見当たらない住宅への配布漏れ、他のチラシと一緒に扱われて捨てられてしまう可能性やアパートなどでのポスティング禁止により届かない可能性、配布コストの増加などの課題があります。</p> <p>令和6年度にポスティングの業務委託が可能と思われる事業者3者にポスティング業務の受諾の可否を伺ったところ、いずれの事業者からも人手不足や対応が難しいエリアがあることから受託できない旨の回答を受けております。また、県内自治体の実施状況を参考に業務委託の費用を試算すると、広報紙の運搬費用が年間で現在の2倍から3倍になることが想定されます。</p> <p>こうした現状を踏まえた上で、現時点では、自治会の皆様に引き続き配布のご協力をいただきたいと思いますと考えております。</p> <p>今後も、他自治体の配布方法を参考にしながら効果的かつ有効な配布方法を検討してまいります。</p>

No.	意見・要望等	所管課	回答
7	<p>【緑町浸水対策】</p> <p>①忍沼川の浸水シュミレーション結果では忍川の対策工事が完了すればオーバーフローしないとなったが、余裕が10cmしかなく、かさ上げ工事の必要がある。ぜひ願います。</p> <p>②内水排水ポンプ能力について、現在は40mm/Hの能力と聞いているが、昨年も2回道路まで冠水している。更に能力アップの検討をお願いします。</p>	道路治水課	<p>①忍沼川のシミュレーション結果については、御指摘のとおり、忍川の対策工事が完了すればオーバーフローしない結果となりましたが、忍沼川の計画高水位を超えていることから、より安全な河川とするために、現在、埼玉県と協議を実施しております。</p> <p>②緑町排水機場につきましては、1時間当り40mmの降雨に対して、当時の土地利用状況を勘案し、宅地に影響が無い範囲での湛水を前提とした排水ポンプの能力を選定しております。</p> <p>現時点ではポンプの増強や増設は考えておりませんが、他の浸水常襲地区も含め、市民の財産と生命を守るため、浸水被害対策に取り組んでまいりたいと存じます。</p>
8	<p>【桜の枯れ木対策について】</p> <p>武蔵水路沿いの木が多数枯れている。対策を始めたと聞いたが、概要を教えてください。</p>	商工観光課	<p>武蔵水路沿いの桜につきましては、特定外来生物「クビアカツヤカミキリ」の被害を受け、多数の桜が枯死している状況でございます。また、市内においても、クビアカツヤカミキリの被害を受け、枯死している、あるいは今年に春に花が咲いていない桜が多数見受けられました。</p> <p>市といたしましても、クビアカツヤカミキリの被害を受けている桜があまりにも多く、危機的な状況にあることから「緊急に対策を強化すべき」と判断し、桜の植樹をはじめ桜の景観保全を目指す「よみがえれ！行田の桜プロジェクト」を立ち上げました。</p> <p>本プロジェクトでは、市内複数の場所で桜の植樹及び整備を予定しており、その中で、クラウドファンディング型及び企業版ふるさと納税寄附金を活用した武蔵水路沿いの桜への植樹を予定しており、植樹予定場所につきましては、富士見町地内の埼玉県立総合教育センター東側を予定しております。</p> <p>また、市では、令和7年度から令和9年度までを「クビアカツヤカミキリ集中対策強化期間」としており、武蔵水路沿いの桜につきましても、伐採や薬剤注入を集中的に実施する予定でございます。</p>